Microsoft Office Outlook 2016 での設定(追加設

定)



Outlook 2016 を起動します。

※初回起動時には自動的にアカウント作成画面に移行します。



※Outlook2016 のバージョンによって、設定画面が異なります。以下①~③の

どの画面が表示されるか確認をお願い致します。

① "Outlook"と表示される場合。手順3へ進んで下さい。

or Outlook	×
メール アドレス	
詳細オプション 🗸	
接続	

② "Outlook へようこそ"と表示される場合、以下リンクを参照して下さい。

Outlook 2016[2]はこちら

	Outlook へようこそ	
メールア	ドレスを入力してアカウントを追加します	Γ.
	詳細オプション ~	
	4±6±	
	投机	

③ "Outlook2016 へようこそ"と表示される場合、以下リンクを参照して下さ

い。

Outlook 2016[3]はこちら

icrosoft Outlook 2016 へようこそ	x
Outlook 2016 へようこそ	
Outlook は、電子メール、予定表、連絡先、仕事などの管理に役立つ強力な機 ーソナル アシスタントです。	能を備えたパ
使ってみましょう。次のステップでは、電子メール アカウントを追加します。	
< 原志(B) 次へ(M) >	+772n

🗍 手順 3

タブの"ファイル"をクリックし、"情報"内の"アカウントの追加"をクリックし

ます。



入力欄へ当社の電子メールアドレスを入力し、"詳細オプション"から"自分で自

@nx.tt	n.ne.jp	
	詳細オプション ▲ ☑ 自分で自分のアカウントを手動で設定	
	接続	

分のアカウントを手動で設定"にチェックを入れ、"接続"をクリックします。

🔱 手順 5

"POP"を選びクリックします。

				×
Outlook				
詳細設定				
		E	G	
Office 365	Gaubok.com	exchange	Goodie	
POP	IMAP			
前に戻る				
∭夭順ら				
デナ限の				

電子メールアカウントの設定画面です。各項目に入力して設定し、"次へ"をク

リックします。

POP アカウントの設定 xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx	(別のユーザー) ト 110 が必要 ポート 587 が必要		
次のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	(別のユーザー) ト 110 が必要 ポート 587 が必要	アカウントの設定	
受信メール サーバー pop.ttn.ne.jp ポート 110 このサーバーでは暗号化された接続 (SSL/TLS) が必要 マキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) でのログオンが必要 送信メール サーバー smtp.ttn.ne.jp ポート 58 暗号化方法 なし マ むをキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) でのログオンが必要 メッセージ配信 既存のデータ ファイルを使用 参照	ト 110 が必要 ポート 587 が必要	xxxxx@nx.ttn.ne.jp	(別のユーザー)
サーバー pop.ttn.ne.jp ポート 110 このサーバーでは暗号化された接続 (SSL/TLS) が必要 セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) でのログオンが必要 送信メール サーバー smtp.ttn.ne.jp ボート 58 暗号化方法 なし セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) でのログオンが必要 メッセージ配信 既存のデータ ファイルを使用 参照	ト 110 が必要 ポート 587 が必要	JI.	
 このサーバーでは暗号化された接続(SSL/TLS)が必要 セキュリティで保護されたパスワード認証(SPA)でのログオンが必要 ボート 58 暗号化方法 なし ▼ セキュリティで保護されたパスワード認証(SPA)でのログオンが必要 メッセージ配信 既存のデータファイルを使用 参照 前に戻る 	が必要 ポート 587 が必要	一 pop.ttn.ne.jp 术	-h 110
セキュリティで保護されたパスワード認証(SPA)でのログオンが必要 送信メール サーバー smtp.ttn.ne.jp ボート 58 暗号化方法 なし セキュリティで保護されたパスワード認証(SPA)でのログオンが必要 メッセージ配信 既存のデータファイルを使用 節に戻る 次	が必要 ポート 587 が必要	のサーバーでは暗号化された接続 (SSL/TLS) が必要	
送信メール サーバー smtp.ttn.ne.jp ポート 58 暗号化方法 なし ・ し セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) でのログオンが必要 メッセージ配信 ■ 既存のデータ ファイルを使用 参照 前に戻る 次ペ	ポート 587 が必要	キュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) でのログオ	が必要
 送信メール サーバー smtp.ttn.ne.jp ポート 58 暗号化方法 なし セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) でのログオンが必要 メッセージ配信 既存のデータ ファイルを使用 参照 前に戻る 	ポート 587 が必要	and the second second from the second s	
サーバー smtp.ttn.ne.jp ボート 58 暗号化方法 なし ・ セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) でのログオンが必要 メッセージ配信 既存のデータ ファイルを使用 参照 前に戻る	ポート <u>587</u> が必要 	x-11	
暗号化方法 なし セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) でのログオンが必要 メッセージ配信 ■ 既存のデータファイルを使用 参照… 前に戻る 次ペ	が必要 	i smtp.ttn.ne.jp	ポート 587
■ セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) でのログオンが必要 メッセージ配信 ■ 既存のデータファイルを使用 ■ 節に戻る 次ペ	が必要	化方法 [*1.]	
■ C=2:071 C+sate 0.0 (x) = T Notal (S+A) (0010747) から安 かセージ配信 ■ 既存のデータ ファイルを使用 参照 前に戻る		ナコリティブ保護されたパフロード認証 (SDA) ブのロガオ	あんあ
メッセージ配信 ■ 既存のデータ ファイルを使用 参照 前に戻る 次へ		+1991 (14:80100(X)-160al (3PA) (00097)	小心安
既存のデータファイルを使用 参照… 参照… 前に戻る 方へ		ージ配信	
参照 前に戻る 太へ		存のデータファイルを使用	
前に戻る			
前に戻る		参照	
前に戻る		参照	
前に戻る 次へ		参照	
100 C	次へ	参照	
		参照 ₹ 3	次へ

受信メール

受信用サーバーを入力「pop.ttn.ne.jp」
110
チェックを外す
チェックを外す
送信用サーバーを入力「smtp.ttn.ne.jp」
587
なし
チェックを外す
チェックを外す

🛛 手順 7

パスワード欄に電子メールパスワードを入力し、"接続"をクリックします。

POP アカウントの設定 xxxxxxxxx@nx.ttn.ne.jp	(別のユーザー)
パスワード	
*****	ି
	-
前に戻る	接続

🔱 手順 8

「~を追加しています」と表示されます。しばらくそのままお待ち下さい。



□ 手順 9

正しく設定されていれば完了の画面が表示されます。"完了"をクリックして設

定は終了です。

POP POP	
xxxxxxxx@nx.ttn.ne.jp	
別のメール、アドレフた追加	
がのメールフェレスを追加	
メールアドレス	次へ
メールアドレス 詳細オブション ヘ	次へ
メールアドレス 詳細オプション へ マ 自分で自分のアカウントを手動で設定	次へ
メールアドレス 詳細オプション ▲ ✓ 自分で自分のアカウントを手動で設定	次へ